

災害時の福祉を学ぶ

～はじめて学ぶ災害ボランティア養成講座～

3月12日、東美濃ふれあいセンターで社協、中津川市防災市民会議、中津川市防災対策課の主催で、「はじめて学ぶ災害ボランティア養成講座」を開催しました。

☆講演「災害ボランティアについて」



▲NPO法人
レスキューストックヤード
栗田暢之さん



▲東日本大震災発生の日にもかかわらず区長や民生委員児童委員の他80人以上が参加。

「過去の災害の経験や知識を活かし、中津川市で大規模災害が起こっても、少しでも悲しい出来事がなくなるように一人ひとりが努力しましょう」

☆災害ボランティアセンター立ち上げ演習



参加者はボランティア役となり、被災者宅へ訪問し、ニーズに応じて活動する体験を行いました



災害救援や啓発などの活動を行うNPO法人レスキューストックヤードの代表理事・栗田暢之さんによる講演と災害ボランティアセンターの役割や機能を学ぶための演習を行いました。

参加者からは、「ボランティアの必要性が良くわかった」「東北の大震災を他人事ではないと実感した」など、さまざまな感想がありました。

企業の社会貢献活動の紹介

近年、企業では営利を追求するだけでなく、地域のために働くといった考え方のもとに様々な方法で社会貢献活動を行っています。

今回は、基金設立などを行うことにより、地域福祉の向上に取り組んでいる企業の一部を紹介します。

三菱電機株式会社中津川製作所

社員によるボランティアグループ「MVクラブ」の寄付金額と同額を会社が負担し、寄付を行う「ソーシャルツ基金」を設立。毎年市内の福祉施設が必要とする電化製品等の寄贈を行っており、3月には障がい者就労継続支援事業所ふくおかへ自社製品の液晶フイド画面テレビや空気加湿清浄器、掃除機を寄贈いただきました。

株式会社富士通テン中津川工場

「富士通テン社会貢献基金」を設立し、毎年、福祉活動のための機器等の寄贈を行っており、3月に社協の通所介護事業所2ヶ所へカラオケシステムを寄贈いただきました。

名古屋ヤクルト販売株式会社

「地域福祉に温かい愛の手を」をスローガンに「福祉ヤクルト運動」を行い、ヤクルトの売上金の一部を協賛金として毎年社協へ寄付いただいております。4月に91,875円を寄付いただきました。

社協では、企業や社会人の社会貢献活動に関する相談やボランティア活動参加のきっかけづくりのための出前講座などを行っておりますのでぜひ活用ください。



シニアのパワーを地域で活かそう！

シニアボランティア養成講座

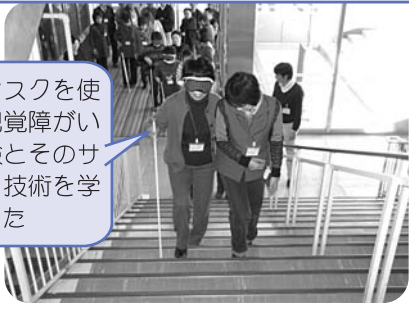
3月3日、10日の2日間、にぎわいプラザで『シニアボランティア養成講座』を開催し、定年退職者等19人が参加しました。

豊かな知識や経験を持ったシニア世代が、ボランティア活動に参加するためのきっかけづくりとして福祉や介護に関する基本的な知識と技術を学びました。講座では、車イス体験、手話体験、中津川シニアボラン



介護、車イスなどの体験では、コミュニケーションの大切さを学びました

障がい者就労継続支援事業所、宅老所で、ボランティア活動の現場を見学しました



アイマスクを使って視覚障がい者体験とそのサポート技術を学びました



参加者には樋田邦彦会長から修了証が手渡されました



ティアメンバーによる講話、福祉施設見学などを行いました。「介護では笑顔と声かけが大切だと分かった」「身近なところでボランティアしたい」など、今後活動を続けたいという意見が多くありました。また、今回の養成講座は「中津川シニアボランティア」の協力を得て、より充実した講座内容となりました。ご協力ありがとうございました。

高校生ボランティアが親子交流会を開催!!

「小麦粉ねんどで遊ぼう」

3月27日、にぎわいプラザで、中津高等学校家庭クラブの生徒6人が、今回で4回目となる親子交流会を開催しました。

当日は、親子25人が参加し、紙芝居の上演や「小麦粉ねんどづくり」を行いました。生徒のみなさんは、参加親子に小麦粉ねんどのつくり方を教え、動物や花などを一緒に作り、楽しい交流の場となりました。



つながる・ひろがる ボランティア団体 紹介コーナー

「中津川市レクリエーション協会 福祉部」(発足H6・4・1 会員数37人)

中津川市レクリエーション協会では文化、芸能、スポーツ、福祉など、様々な分野を取り入れて、人々の生活を活性化することに日々努力している団体です。その中で福祉という分野で、社協や市内福祉施設等行事の協力などを行っています。



福祉ボランティアに関することは社協地域福祉課にお気軽にどうぞ連絡ください

☎06-11111 (内線608)

